



伊豆の国市 議会だより

2017年8月1日発行

No. 45

編集

伊豆の国市議会だより特別委員会

〒410-2292 静岡県伊豆の国市長岡340-1

☎ 055-948-1417 FAX 055-948-2913

<http://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/>

6月定例会

就任の挨拶・議員紹介…………… 2

常任委員会報告…………… 3

一般質問…………… 4～10

政務活動費執行状況…………… 11

議決結果・賛否一覧…………… 12

足湯「湯らっくす公園」

平成29年 伊豆の国市議会新体制始動!!

4月に市議会議員選挙が行われ、新たに17人の議員が決まりました

就任の挨拶

4月の選挙後の臨時会においてご推挙いただき、正副議長に就任いたしました。市議会にとって大切なことは、市政発展のために一丸となり、「市民に分かりやすい身近な議会」として活動していくことだと思います。そのためには先輩議員が取り組んできた議会改革の流れをさらに推進し、議員相互の研さんと議論を重ね、審査や政策提言につなげていく必要があると考えています。

6月定例会から、議会の様子をより多くの皆様に知っていただくため、「FMいずのくに」の生放送を、これまでの一般質問に加え、初日と最終日も行っていますので、ぜひお聴きください。

これからも市民の皆様のご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



副議長

古屋
鋭治



議長

天野
佐代里

議員



1. 井川 弘二郎
(大仁)



2. 青木 満
(寺家)



3. 高橋 隆子
(韭山山木)



4. 森下 茂
(宗光寺)



5. 笹原 恵子
(南條)



6. 鈴木 俊治
(塙之上)



7. 久保 武彦
(南條)



8. 八木 基之
(北江間)



9. 二藤 武司
(奈古谷)



10. 小澤五月江
(古奈)



11. 梅原 秀宣
(韭山多田)



12. 柴田 三敏
(古奈)



13. 三好 陽子
(御門)



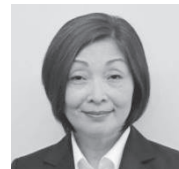
14. 田中 正男
(中)



15. 後藤 真一
(三福)



16. 古屋 鋭治
(田京)



17. 天野佐代里
(南條)

議席番号順に掲載
氏名
(住所)

◆一部事務組合等
駿東伊豆消防組合議会議員
二藤 武司・井川弘二郎
◆伊豆市伊豆の国市廃棄物処理施設組合議会議員
田中 正男・柴田 三敏・八木 基之・笹原 恵子
◆三島市、伊豆市及び伊豆の国市電算センター協議会運営委員
久保 武彦・青木 満・井川弘二郎
◆都市計画審議会委員
久保 武彦・鈴木 俊治

福祉文教経済委員会
委員長 小澤五月江
副委員長 柴田 三敏
委員 古屋 鋭治
田中 正男
八木 基之
笹原 恵子
森下 茂
高橋 隆子

総務観光建設委員会
委員長 梅原 秀宣
副委員長 鈴木 俊治
委員 天野佐代里
後藤 真一
三好 陽子
二藤 武司
久保 武彦
青木 満
井川弘二郎

議会運営委員会
委員長 三好 陽子
副委員長 二藤 武司
委員 梅原 秀宣
小澤五月江
八木 基之
森下 茂

総務観光建設委員会

平成29年度一般会計補正予算

■順天堂大学医学部附属静岡病院への補助金のうち、特別交付税の割合は。

補助を始めた平成27年度は100%だったが、算定方法が変わり、平成28年度からは概ね45・6%。

■ふるさと納税の金額、返礼の割合及び今後の方向性は。

寄付額が1億3567万2000円。返礼割合は宿泊感謝券で5割。総務省から返礼率を3割以下におさえるようにとの通達があり、見直しをする。

■伊豆長岡温泉保護対策事業に関する温泉管敷^{ふせう}替え工事の今後の見通しは。

本年度までの3年間で約3^{キロ}メートル行う計画となっている。今後も温泉保護対策基金を活用して、施設の維持補修、管理等を行っていく。



温泉管敷^{ふせう}替え工事

■準用河川洞川流域浸水対策事業における洞川改修工事の増額補正の理由は。県から補助金増額の内示決定を受け、延長が可能になった。



改修工事で完成した洞川の一部(四日町)

■準用河川谷戸川流域浸水対策事業における河川用地購入は、具体的にどこをかうのか。

宗光寺の排水機場の南側に谷戸川と宗光寺川の合流点があり、浸水しやすいことから、現在の排水路脇用地を買収する。大きめの排水路をつくり、浸水被害の軽減を図る計画。

■古奈地区公園整備事業の工事費の増額は、県補助金の決定によるとのことだが、今後の事業進捗への影響は。

県の事情が不明のところもあり、おさえて試算をしたところ満額ついたので、計画を予定どおりに進める。

福祉文教経済委員会

「伊豆の国市立幼稚園の長期休業期間における預かり保育の実施に関する条例」の制定

■幼稚園預かり保育を実施しようとする経緯とその理由は。

ふじのくに地域少子化突破戦略応援事業補助金の活用を検討する中で、親の就業支援の観点から新規事業として実施する。

■共和幼稚園で実施する理由は。

冷房設備が完備されていること、また、アンケート結果で共和幼稚園を希望する保護者が一番多かったため。

平成29年度一般会計補正予算

■高等職業訓練促進給付金84万6000円の内容は。

ひとり親家庭の母または父が資格を取得するために専門学校等に就業する場合の給付金。課税世帯、月額7万500円の12カ月分である。

■環境基金積立金22万3000円の内容と今後の使い道は。

レジ袋の売上代金の寄付金。今後、花壇の散水設備や花の苗の支給など環境整備のための使い道を提案していく。

■救急医療等運営事業補助金9524万9000円の内容は。

不採算医療等の機能を担う順天堂大学医学部附属静岡病院への補助金。補助金は市民の受け入れ人数(患者割)を用いて算出している。

閉会中の継続調査

平成29年7月6日(木)

◎救急医療等運営事業について

ドクターヘリの運行状況や格納庫の現地調査を行った。

◎郷土資料収集物保存施設整備事業について

中央図書館2階に移転した郷土資料館展示施設と、整備中の収蔵物保存施設の現地調査を行った。

◎葦山中央農道拡幅改良事業について

農業用排水路移設改修工事について現地調査を行った。



葦山中央農道(葦2-3号線)工事箇所

一般質問

今回は14人が行い当局の考え方を質しました。
FMいずのくに(87.7MHz)で生放送しています。

認定こども園の 建設整備について

小澤五月江

問 公立保育園は定員オーバーで、幼稚園は空き教室が出ている状況の中、認定こども園の建設は考えているのか。

また、私立保育園、幼稚園についても認定こども園化を視野に施設拡張の計画があるのか。

答 現在、公立保育園は定員24人のオーバー、幼稚園は定員479人が下回っている状況である。そこで、認定こども園に向け再整備を検討したが、私立幼稚園、保育園2園が施設拡張し、幼

保連携型認定こども園化に向けた準備の動きを確認した。そのため、私立の支援を優先し、公立としては一時保留とした。

問 ひまわり保育園大仁分園は耐震補強するのか。また、分園としての機能について今後の考えは。

答 園舎については、耐震性能を有する建物である。また、保育需要の高まりから閉園の方針を転換し保育環境や耐震性を十分配慮し、継続していく。

乳幼児連れ家族外出支援

「赤ちゃんの駅」設置について

問 乳幼児を連れた家族が安心して外出できる支援策は。また、授乳やおむつ替え等ができる「赤ちゃんの駅」を公共施設から設置してはどうか。

答 支援策として、市民交流センター「大仁くぬぎ会館」内こども広場や、地域支援センターたんぼ・すみれには設置している。市内には赤ちゃんの駅は設置していないが、今後、手洗い設備、おむつ替えシート・授乳スペースなどの条件や機能の一部を具備した施設の整備に取り組んでいく。

問 イベント会場にも設置する考えは。

答 安心して参加できるように、既存のおむつ替えシートの周知を図るとともに、授乳室を確保していく。屋外のイベントではテントなどにより、授乳スペースの設置を考えている。

「赤ちゃんの駅」とは。

誰でも自由におむつ替えや授乳ができるスペースの愛称だよ



小・中学校の 学区一本化について

久保武彦

問 伊豆の国市を一つの学区として希望する小・中学校に通学できるように考えますが、合併後の十数年間に学区の見直しはされてきましたか。

答 「伊豆の国市小・中学校の通学区を定める規則」に基づき、子どもたちの住所地により決まることとなります。合併後7回の改正がされております。主な内容は、田中山分校、大仁東小学校の廃校、長岡中学校、長岡北小学校及び大仁小学校への特別支援学級の新設に伴うものです。旧町を越えるような見直しは行っておりません。

問 遠距離通学への対応や希望する小・中学校に通える制度の見直しを考えていますか。

答 遠距離通学する児童・生徒には、通学支援をしています。指定の学校以外に通う方法もあります。伊豆の国市立小・中学校指定校変更の制度を活用して、特別な理由や地域事情等がある場合は指定校変更ができます。現在、32件の指定校変更が実施されています。

問 三つの中学校の特色ある教育活動について試案はありますか。

答 学校の特色を生かすことや魅力ある学校づくりについては、伊豆の国市教育大綱や伊豆の国市の教育の基本方針の中で概念的に示しています。

タクシー・バス・鉄道利用券について

問 バス・鉄道利用券(5000円)にした経緯は。

答 高齢者の外出支援を目的とした「福祉タクシー・バス・鉄道利用券」に加え、市内を運行する路線バスと鉄道の利用増加を図る「バス・鉄道利用券」を交付することで公共交通機関の存続を図りたい。「バス・鉄道利用券」は予約型乗り合いタクシーも使えます。

問 今後1万5000円分を統一する予定はありますか。

答 今のところは、予定はありません。



予約型乗り合いタクシー
(星和・立花台)

ふるさと納税制度で

市内ゴルフ場PRを

柴田三敏

問 返礼品に、今後追加メニューを検討されているか。また、ゴルフ場を単体で利用できる返礼品を考えては。

答 市内の各方面から、宿泊感謝券だけでなく、返礼品を追加、拡大して欲しいという声があり、地域経済の活性化を図る観点からも検討してきた。

また、本年4月1日付で総務大臣から、返礼率は寄付額の3割以下が妥当であると明示され、この対応を含め対象の拡大を行いたい。その方法として返礼品の基準を設定し、これを満たす返礼品及び出品事業者を広く募ることを考えている。

この基準を満たせば、返礼品とした。

問 地域の観光施設としてゴルフ場をPRしては。

答 四つのゴルフ場があり、年間で約18万人のゴルファーが利用している。各ゴルフ場がゴルフプレー券を発行することにより、利用者も増え交流人口も増える相乗効果が見込める。

地域経済の振興や市の収入増のため市内ゴルフ場に対し、積極的にゴルファーにプレー券のPRを働きかける。

民間未利用地の活性化について

問 民有地へ企業誘致を取り持っては。

答 情報を広く収集し、進出したい企業と、未利用地の活用を検討している土地所有者のマッチングにより、市内の産業・経済の発展のためになる企業誘致に結び付けたい。

さつきヶ丘野球場の今後について

問 両翼拡張事業の進捗状況は。

答 公認野球場と非公認でも公式野球ができる二つのパターンの経費を積算している。事業収支・財源確保の目的を検証し、整備の可否・方針等を決定する。



市内のゴルフ場

市「民生委員・児童委員」の課題や対応策について

二藤武司

問 全国的傾向にある民生委員・児童委員の確保難による充足状況と、委員確保への課題や空洞化地域への対応は。

答 現段階では充足率は94・5%であり欠員7人となっている。

未充足地区については、他の委員の方々に可能な範囲でフォローしていたが、市とともに協力・支援しているが、委員の負担が大きく人材確保が近々の課題と捉え、市・民生児童委員の代表者・区長の代表者と確保に向けて話し合いを続けている。また、委員の負担増加として、「行政からの依頼事項が多過ぎる」、「複雑化した福祉制度の理解や委員研修への参加が負担」、「個人情報保護制度による情報収集難」等が挙げられる。このような委員活動の負担の重さや難しさの軽減を図り、就任しやすい環境を整える考え。

浮橋温泉スタンドのその後

問 事業開始以来、議会や監査委員から施設整備や温泉提供に関しての指摘

と、その回答は。

答 平成27年度の議会による事業評価では「これまでの投資と利用状況を考えたら、廃止に向けて縮小を考えるべき」との評価をいただいた。その他の意見や評価も踏まえ、これ以上の投資は考えず、現状を維持する方針。

問 今後の取り組みと事業完結について。

答 今後については、民間への譲渡を含め、運用について検討していく。

なお、大規模な修繕費等の必要が生じた場合には、その時点で利用中止あるいは廃止もやむを得ないと考えている。



狩野川を活かした

まちづくりについて

井川弘二郎

問 狩野川に生息する鵜の食害対策は。

答 市が実際に駆除することはできない。市ができる対策として、①卵に対してドライアイスを入れて凍らせて羽化しないようにする。②鵜の性質を利用する。河川にこいのぼりをかけて、鵜が飛び立てないようにする。

観光資源としての両面から利用することを今後検討して、できる限り実現に向けて協議していきたい。

問 鮎を使ったまちづくりや誘客対策の考えについて。

答 ①伊豆の国市版DMO事業の一つとして狩野川と鮎をテーマとした魅力ある商品企画が進められている。②「新虎(新橋・虎ノ門)マーケット」で、第1回のメニューに選ばれた狩野川の鮎のサンドイッチなど、地域の食材として鮎を使ったメニューも広めていきたい。

問 狩野川を自然教育の場としてもっと活用すべき。

答 伊豆の国市生涯学習推進大綱で

は、狩野川を活用した生涯学習の推進を基本目標の一つとしている。

狩野川を活用して特色ある生涯学習を推進し、人づくり、まちづくりを目指す。小・中学生を対象としたあいキッズ

事業では、8月にカヤック川下り教室や狩野川漁業協同組合の協力のもと、子ども鮎の友釣り教室を実施している。

問 狩野川や城山等の景観資源を活用した狩野川景観事業についての考えは。

答 自然環境の保全に十分配慮しつつ、市民や本市を訪れる観光客の方々の憩いの場、交流の場となるよう、狩野川を軸に城山や守山などの景観を守り生かす取り組みを進めていきたい。



鮎の友釣り風景

下水道使用料について

笹原恵子

問 重要なライフラインの一つである下水道は多くの税金で賄われており、市の下水道使用料は平成8年から20年間も据え置かれている。この使用料・公費の負担割合と、他市町の状況は。

答 受益者負担33%、公費67%。基本料金20立方メートルまで税抜き1600円、1立方メートル超過ごと税抜き80円の加算という料金設定は、県内で2番目に安い。

問 浄化槽使用家庭の維持管理費用は。

答 都道府県構想策定マニュアルによると、浄化槽一基設置に83万円、標準家庭維持管理費は1カ月当たり約5400円に対し、下水道使用家庭は約2400円。



問 両者に差があり、多くの税金負担は、受益者負担という観点から、下水道を使用していない浄化槽使用家庭にとって不公平感の原因となるのでは。

答 維持管理費と汚水処理費については使用料で賄うことが望ましいと考え

る。市下水道事業運営審議会での審議が行われており、その審議結果を待つ。

問 審議会の現状とこれからの予定は。

答 これまで3回開催、7月の審議会では答申をまとめ、近隣市町の状況等を考慮しながら、平成30年4月からの料金改定を予定している。

問 改定となれば市民にはどのような周知、納得してもらうのか。

答 市ホームページ、広報などでわかりやすく説明し、処理区域の見直しについてもホームページで確認できるようにしたい。

問 下水道会計は特別会計であるが、公営企業会計に移行する考えは。

答 下水道使用人口の減、設備の劣化、予想される大きな財政負担などの観点から、公営企業会計への移行について総務省から通達が出ており、平成32年度に移行する準備を進めている。



観光基本計画の

着実な実施に向けて

鈴木俊治

問 平成27年3月に策定された観光基本計画は2年が経過したが、期待感溢れる重点プロジェクトの進捗状況は。

答 ①市民一人ひとりの参加による観光地づくりについては、魅力的な観光地づくりのため、市民が主体となった地域づくりを行うワークショップや異業種間交流を深める。また、着地体験型旅行商品を企画・実践する「市観光まちづくり協議会」を設立し、DMO形成事業を進めながら、オンパク(温泉博覧会)の開催を予定している。

②葦山反射炉とその周辺の歴史・文化資源を活用したおもてなし態勢の強化については、歴史ガイドの整備・支援、英語ガイドの導入を図った。昨年12月には葦山反射炉ガイダンスセンターを設置。「歴バスののゝら」の運行を開始した。「明治日本の産業革命遺産情報アプリ」、外国観光客にも対応したスマホサイトを整備した。

③伊豆長岡温泉周辺整備については、長岡の温泉場で「お散歩市」を定期的に

開催している。温泉街の修景は、旅館等の跡地利用を最優先事項と捉えて取り組んできた。関係事業者等と具現化に向けて協議を重ねている。

④地域医療の中核を担う拠点医療機関との連携については、順天堂大学医学部附属静岡病院や観光事業者などと連携し、可能性の研究を進めている。

問 観光基本計画の施策の実現を目指すため、実施計画の策定が必要では。

答 観光基本計画の中の一部をアクションプラン前期計画として平成28年度に策定した。今後は、全体的な進捗管理ができるよう検討していく。



伊豆長岡 温泉場出逢い通り

中学校部活動で利用する

バスについて

高橋隆子

問 無料で借りられた「市バス」が廃止され、部活動や少年団の遠征に経済的負担がかかる。市でバスを新規に購入するか、補助を拡充するなど支援は。

答 老朽化により廃車したが新たにバスを購入せず、補助金で支援する。平成27年度から部活動補助金を生徒一人当たり3500円に増額した。また、廃車前の教育バスにかかる経費を各小中学校に配分し、各学校新たに21万9000円を予算付けしている。

問 今後の部活動・少年団への支援は。

答 平成27年度から「全国中学校体育大会・東海中学校総合体育大会出場補助金」として、東海・全国大会への補助金は別枠で予算化している。また、保健体育総務事業スポーツ賞賜金制度においては、国際大会まで賞賜金が出る。今後も現在の支援を維持していく。

防災訓練・防災教育について

問 大規模地震が高い確率で予測されている。災害想定レベルは。浜岡原子

力発電所事故による放射性物質汚染の想定は。

答 レベル1(東海・東南海・南海地震等)、レベル2(南海トラフ巨大地震)を想定をしている。

原発については、本市は「緊急時防護措置を準備する区域(30・9キロ)」圏外なので避難計画を策定していない。必要に応じて対応していく。

問 子どもたち、教職員を対象にした防災教育の取組みは。

答 地域では自主防災組織が防災マップ等活用し、工夫して訓練をしている。各学校の教職員に対しては県教育委員会指導により「防災計画」等を作成し避難誘導に活用。防災キャンプ、通学合宿等でも、生涯学習として取り入れるよう検討したい。



大仁市民会館跡地は大仁署の建設予定地の有力候補

古屋鋭治

問 市長は、大仁警察署が移転してくる旨の話をしているが、大仁署移転計画等について伺う。市民の望む施設の計画を求める。

答 大仁警察署は、昭和51年に供用開始。伊豆の国市誕生により、管轄に旧葦山町と旧伊豆長岡町が加わって警察署が手狭で老朽化も進んでいる。県は、市民会館跡地を大仁警察署の建設予定地の有力候補としている。市は、県から要請があれば調整したい。



閉館した大仁市民会館

旧大仁高校跡地グラウンド等の借用について

問 グラウンド・テニスコートは、現在未使用である。市民の要望もあり、県から借用し、有効活用を。

答 指摘の場所は、県有地であるが利用していないため荒れた状態にある。整備することによって、中学生の軟式野球や還暦野球、サッカー、ソフトボール等多目的に利用できると考える。県は、この場所の有効活用策を検討中であり、貸し出し可能となった場合は県と調整したい。

大仁東幼稚園移転に伴う通園補助金について

問 ①通園補助金検討の進捗状況は。②該当4区(浮橋・田原野・下畑・長者原)の大きな問題であり、十分な説明と了解を得る必要がある。

答 ①市は、昨年12月にガソリン代に対する通園補助を行うことにした。市小中学校遠距離通学補助金交付要綱と保護者要望が異なり、補助金制度の確定に至っていない。②夏休み前に通園児保護者や入園対象児保護者と話し合いを持ち、公平性にも十分配慮し検討する予定である。保護者の合意を得られたのち、該当4区住民に対し地区説明会を開催し、補助金制度の内容を確定させ、来年4月から施行したい。

旧大仁市民会館は市民の活動拠点として何らかの形で存続を

三好陽子

問 築43年経過して耐震不足となり、今年3月閉館した旧大仁市民会館について、「利便性が良いので何らかの形で残してほしい」と多くの市民が願っている。今後どのように活用していく考えか。

答 大仁警察署の建設予定地の有力候補の一つで、県の方針が明確になった段階で、公共施設再配置計画策定検討委員会で検討していただき、計画に反映していきたい。

子ども医療費助成は高校3年生まで無料化拡大を

問 平成29年4月時点で、県内4市3町が高校3年生までを助成対象としている。子育て支援の一つとして、積極的に対象を拡大すべきではないか。

答 高校生まで拡大した場合、年間3500万円前後の負担増が見込まれる。国・県の財源措置のない現状では、慎重に考えざるを得ない。

バス・鉄道利用券と福祉タクシー等利用券を一体のものに

問 バス・鉄道を利用できる体調にない方や、身近に公共交通がないため利用できない方がいる。すでに実施している福祉タクシー等助成とは事業の目的は違うが、「バス・鉄道利用券で、タクシーも利用できるようにしてほしい」との声がある。一体のものとして実施した方が良いと思うが。

答 高齢者等の外出支援を目的とする福祉タクシー等利用券に加え、バス・鉄道利用券を交付することにより、市内運行のバスと鉄道の利用増加を図り、公共交通網を維持または確保しようとするもの。それぞれ目的が異なっており、一体のものにするとは考えていない。



75歳以上・障がい者対象の利用券

市内山間部への大量の残土 搬入は安全面環境面から規制を

田中正男

問 今年3月頃より田中山地区内において、東京の業者による太陽光発電施設建設地造成のため、外部から大量の残土が大型ダンプにより搬入され、盛り土が行われている。市の土地利用事業が承認され、地元田中山区も同意済とのことだが、搬入される残土の発生場所、土の内容、搬入量は。

市は現場に出向き残土の確認を。

答 市内及び横浜市からの残土で、産業廃棄物ではなく通常の建設残土。大型ダンプ2700台の予定とのこと。現場へはなるべく多く行くようにする。

問 地元車両の安全確保のために搬入経路にあたる下畑区、高原区、中区への説明をさせる必要があるのでは。

答 業者も対応したいとのこと、早めに行うように指導する。

問 大雨による盛り土の流出や排水対策は。また、下流の守木区への説明は。

答 盛り土をする前に有孔管を設置、盛り土後は地表面の雨水を側溝で集め、敷地内最下流部の沈砂池併用の浸透施設で処理すること。下流区への説明は指導要綱により、施工面積が5畝以下のため行っていない。

問 水源地での大量の樹木伐採や大量の残土搬入は、環境や飲料水への影響が危惧される。規制すべきではないか。

答 土地利用の指導要綱では限界があるので、条例化による規制について少し考えなくてはいけないと思う。



田中山への残土搬入

学童保育は6年生まで受け入れを

問 希望者は少なくても、保護者が安心して働けるために、学童保育は6年生まで受け入れをすべきではないか。

答 低学年の待機児童を発生させない状態での受け入れ拡大が可能かどうか、検討していきたい。

施政方針について 人口減少・少子高齢化対策は

後藤真一

問 人口減少・子育て支援対策は。

答 人口減少や少子高齢化は地域経済・生活環境・財政運営への影響があることから、市に仕事、新しい人の流れを作り、切れ目のない子育て支援を拡充していき、住みよい街づくりをしたい。

問 「行きたいときに行きたい所へ」市民生活と交通システムの課題は。

答 地域特性にあった持続可能な交通手段を確保していく。

問 教育環境整備の課題は。

答 校舎の長寿命化、教職員の多忙による負担軽減、トイレ修繕、空調設備等。

問 保育の質確保は。

答 研修会、現場確認、校務支援システム、第三者評価委員制度等の実施。

問 時代を読み、楽しいまちづくりのため、市営生涯学習塾の開設は。

答 開設に向けて提案から検討したい。

特別支援学校について

問 特別支援学校生徒の登校支援は。

答 障がい者移動支援を検討中。市の負担は2分の1程度。個人負担は1割。

問 県への支援要望の交渉を早期にすべきでは。

答 ほかの課題とともに県へ伺う。

問 特別支援学校建設の進捗状況は。

答 県の計画実施事業で、平成33年開校予定。

問 県から道路整備や実習施設整備等の要望があった場合は、協力できるか。

答 県からの協力依頼には、全面的に協力する。ただし、排水問題など言うべきことは言いたい。



建設中の静岡県東部特別支援学校

これからの観光戦略 韮山城跡を活かしたまちづくり

梅原秀宣

問 ①伊豆の国市版DMOの今後の展開は。②韮山反射炉の今後の戦略は。③北条早雲没後500年にあたり、本市が先頭に立って「韮山城・早雲まつり」のような記念行事を行ったらどうか。④韮山城跡の整備が進んでいないか。⑤観光イベントで定住促進を図る考えはないか。

答 ①「市観光まちづくり協議会」を核として地域の活力向上に向けた「オンパク」を開催する。②韮山反射炉や温泉資源などの魅力を盛り込んだ旅行商品の企画に取り組んでいる。③北条早雲に最もゆかりのあるまちとして、他市町に呼びかけ「没後500年事業」を主導し、全国に発信する。④史跡指定に向けて文献調査や測量調査を実施する。⑤現在の観光イベントの魅力を高め、また新たな企画に取り組み、移住定住のPRをする。

教育の充実について

問 ①本市の教育のさらなる充実の

ために教育長が考えていることは。②教員の過重労働への対応は。③「確かな学力」のための方針及び放課後学習支援については。④英語教育への取り組み。⑤小学生用地域教材の運用及び本市の教育の特色は。⑥「伊豆の国市を愛する心」を育むために。

答 ①教員の多忙化解消に取り組み、「伊豆の国市教育大綱」に沿って進める。②定時退庁日を設けるなどして勤務時間の削減を図っている。③学習状況調査の分析、少人数指導や個別指導などで取り組む。④全校体制で指導方法を研修、他地区と歩調を合わせて準備する。⑤地域の実態に密着した特色ある学習を進めることができる教材となっている。⑥市の歌「夢色の空」を歌ったり、郷土の教育資源を活用した学習を行うことで取り組んでいる。



遅々として整備が進まない韮山城跡

防災対策、災害対応型紙コップ式自販機設置について

森下 茂

問 災害時において飲料の確保は大変重要である。特にお湯が無料で提供できる災害支援型自販機は、調乳等において大きなメリットがある。飲料メーカーと災害支援協定を進めている自治体があるが、本市において災害時の飲料水や湯の確保は。

答 飲料水の備蓄量は4万350リットル。

お湯の確保について明確な方針はないが、卓上コンロの活用などで工夫する。

問 市全体の災害支援型自販機の設置状況は。

答 韮山時代劇場、アクシスカつらぎ、長岡体育館、大仁東体育館の4カ所、他AED付き自販機8カ所。

問 本市においても災害対応型紙コップ式自動販売機の設置及び災害協定を検討すべきと思うが。

答 本市の広域避難所は、幼稚園、小学校、中学校など24カ所であり、すべてに災害対応型紙コップ式自販機の設置は難しい。

被災した自治体によると、避難所で

のお湯は必要なため、自衛隊から供給。

就学援助、「ランドセル等新入学児童」の入学前支給について

問 経済的に困窮している場合の新入学時ランドセル等学用品費の支給は入学後の支給となり、保護者の立替となり大きな負担となっている。

本市において就学援助における、特に準要保護児童生徒を対象とする新入学児童生徒学用品を、入学前支給が実施できるよう対応するべきと思うが。

答 新入学に係る認定審議は教育委員会4月定例会で行っているが、認定世帯の所得確定後、他所得があるなどで認定取り消し例があるため、準要保護世帯の入学前支給は考えていない。



災害対応型カップ式自販機の一例

平成28年度政務活動費執行状況

(平成28年4月～平成29年3月)

政務活動費は、議会の活性化を図るために、その審議能力の強化や調査活動基盤の充実を図る観点から地方自治法上制定化されているものです。本市議会では、議員としてさらなる資質の向上を図り、市の発展に寄与することを目的に平成25年3月議会において「政務活動費の交付に関する条例」を議決しました。交付金額は1人月額1万5,000円と定められています。平成28年度については1人当たり18万円（平成29年2月に議員辞職した柴田三智子議員は11カ月分の16万5,000円）が交付されました。平成28年度の執行状況については次のとおりです。

支出項目別内訳

(単位:円)

項目 氏名等	調査 研究費	研修費	広報 広聴費	資料 作成費	資料 購入費	人件費	その他 経費	支出額計 ※1	執行率 (小数点第2位 以下四捨五入)	返還額
小澤五月江	11,200	183,700	0	54,000	54,648	14,012	27,000	344,560	100%	0
梅原 秀宣	90,821	0	0	0	88,908	0	0	179,729	99.8%	271
柴田 三敏	0	44,780	0	0	55,152	0	0	99,932	55.5%	80,068
天野佐代里	90,871	76,550	0	56,160	46,152	0	0	269,733	100%	0
渡邊 俊一	0	0	0	0	125,376	0	0	125,376	69.7%	54,624
鈴木 照久	90,821	0	0	0	94,476	0	0	185,297	100%	0
柴田三智子	47,452	173,397	0	0	69,880	0	0	290,729	100%	0
後藤 眞一	4,060	0	0	0	147,600	0	0	151,660	84.3%	28,340
古屋 鋭治	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	180,000
山下 孝志	80,402	9,880	0	0	83,244	0	0	173,526	96.4%	6,474
水口 哲雄	0	0	0	0	127,576	0	0	127,576	70.9%	52,424
鈴木平一郎	90,821	0	0	0	81,411	0	0	172,232	95.7%	7,768
日本共産党 議員団 (田中正男 三好陽子)	0	79,800	0	0	174,880	0	0	254,680	70.7%	105,320
清志会 (佐野之一 内田隆久 杉尾利治)	95,904	10,240	441,556	0	0	0	0	547,700	100%	0
合 計	602,352	578,347	441,556	110,160	1,149,303	14,012	27,000	2,922,730	—	515,289

※1 支出超過額は各人、各会派の負担となる。

議会と市民の交流の場

今年で5回目となる平成29年度議会報告会の日程が決まりました。市内3会場で行いますので、ご都合の良い会場へお越しいただき、率直なご意見をお聞かせください。

平成29年度議会報告会の日程

- 平成29年10月27日(金) 19時00分～20時30分
あやめ会館 多目的ホール
- 平成29年10月28日(土) 10時00分～11時30分
大仁くぬぎ会館 会議室1～3
※託児場所(集会室:和室)を設けます。
- 平成29年10月28日(土) 15時00分～16時30分
韮山時代劇場 映像ホール

どなたでも参加
できますので、
皆様の参加を心より
お待ちしております。

平成29年第2回(6月)伊豆の国市議会定例会

平成29年第2回(6月)議会は6月9日から28日までの20日間で行われ、条例の制定・改正、一般会計・特別会計等について審議した。

議決結果・賛否一覧表

議案	議案の名称	議決結果	井川弘二郎	青木満	高橋隆子	森下茂	笹原恵子	鈴木俊治	久保武彦	八木基之	二藤武司	小澤五月江	梅原秀宣	柴田三敏	三好陽子	田中正男	後藤眞一	古屋鋭治	天野佐代里
条例	伊豆の国市行財政改革推進委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	伊豆の国市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	伊豆の国市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	伊豆の国市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	伊豆の国市学校給食調理場の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	伊豆の国市立幼稚園の長期休業期間における預かり保育の実施に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
予算	平成29年度伊豆の国市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成29年度伊豆の国市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
人事案件	伊豆の国市農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	伊豆の国市教育長の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	伊豆の国市監査委員の選任の同意について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	伊豆の国市副市長の選任の同意について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※1 ○印は賛成、×印は反対 ※2 議長(天野佐代里)は、可否同数の裁決以外は採決に加わらない。

議会の動き

4月

17日 議会協議会
20日 議員研修会
25日 議会第1回(4月)臨時会

5月

12日 議員研修会及び市内公共施設視察
19日 議員研修会
22日 議会全員協議会

6月

2日 議会運営委員会
9日~28日 議会第2回(6月)定例会
12日 議会運営委員会
13日 総務観光建設委員会
14日 福祉文教経済委員会
22日 議会運営委員会
26日 議会全員協議会
27日 議会運営委員会

7月

6日 福祉文教経済委員会
14日 議会だより特別委員会
19日 議会だより特別委員会
21日 議会だより特別委員会
24日 議会全員協議会
27日 総務観光建設委員会

議会だより特別委員会

【委員長】 柴田三敏
【副委員長】 青木満
【委員】 三好陽子、鈴木俊治
笹原恵子、高橋隆子



本年4月に市長・市議会議員選挙が行われました。議員構成は新人が9人と過半数を超え、女性議員は5人に増え、本市では初の女性議長が誕生致しました。

新たな議会構成となり、議会だよりも市民目線での多様な意見を紙面に反映してまいりたいと思います。

市民の皆様からの声をお待ちしております。

委員長 柴田三敏

次回議会の予定 平成29年第3回(9月)議会

- ・8月30日(水) 議会初日
- ・9月4日(月) 一般質問初日
- ・9月29日(金) 議会最終日

※本日程は予定であり、都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。
※各定例会の正式な日程は、定例会前に開かれる議会運営委員会で決定します。